


教材・支援機器活用実践事例フォーマット（小中高版）

	実施年度	平成27年度	
授業について	教科名等	算数	
	単元・題材名	「分数をもっとくわしく調べよう」	
	授業における教師のねらい	○分数についての理解を深めるとともに、異分母の分数の加法及び減法の意味について理解し、それらを用いることができるようにする。	
	授業における子どもの目標	○分母がちがう分数の足し算や引き算は、通分してから計算することが分かる。	
子どもについて	学級・学校・学年	通常の学級 小学生 高学年	
	対象の障がい (種別・診断名等)	肢体不自由 (脳性まひ)	
	授業形態	集団学習	
学習上又は生活上の困難さ	子どもの特性や教育的ニーズ	脳性まひにより、筆記の困難さがあり、時間がかかってしまう。また、筆圧の弱さから文字が薄く、書いた内容が分かりにくく、担任も読み取りが時間がかかってしまう。	
教材・支援機器活用	使用した支援機器・教材の名称	「タブレット端末」 アプリ「ホワイトボード」の活用	<p>【画像】</p> 
	活用のねらい	○算数の計算をする時に導入することにより、筆記の困難さを軽減し、本人の力が発揮されるようにするとともに、学習の量を確保することができるようにする。	
授業における支援 ・教材の配慮事項		<p>○本人に使うかどうかを確認する。</p> <p>○タブレット端末を使用する場合は、支援員に支援機器を依頼する。</p> <p>○他の学級の児童に、本人がタブレット端末を使うことへの理解を促すために、人の多様性が認め合える学級作りをしていく。</p>	
子どもの変容や評価		<p>○筆圧に関係なく、はっきりと書くことができるようになったので、担任、本人も計算の途中過程も分かりやすくなった。</p> <p>○書くスピードが2倍から3倍になり、問題を解く量が3倍に増えた。障がいの有無にかかわらず、学習量が確保された。</p> <p>○本人のもっている力を十分に引き出すことにつながった。</p>	